

平成24年4月25日

担当 第6学年 竹内 一馬

1 ねらい

旧石器時代や縄文時代の人々の生活について、見学・体験を通じて理解を深める。

2 評価

見学・体験活動を通し、自分が住んでいる場所も大昔の人が住んでいたことと、その生活について見学を通して分かったことや考えたことをまとめることができる。

3 学習活動について

社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」の発展教材として扱う。

4 事前指導

縄文時代の人々の暮らしについて学習済み。

見学前に再度復習し、見学のねらい、留意点等についての説明も合わせて行う。

5 当日の指導（活動）内容

全体を2組に分ける。

①見学学習 「学習ノート」を活用。学級で館職員の説明を聞いて学習後、班別に自主学習を行う。

②体験学習 学級毎に館職員の説明を聞きながら、石器作りの体験をする。

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導

学んだこと、考えたことをワークシートにまとめる。

利用学習報告書

平成24年5月15日

担当 第6学年 竹内 一馬

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年5月7日（月）3校時

平成24年5月9日（水）3校時

(2) 主な内容

- ・社会科の学習で「地底の森ミュージアムで学んだこと」のまとめ
- ・社会科の学習で旧石器時代と縄文時代・弥生時代の生活について、つながりや違いを年表のようにまとめた

2 送付する資料

児童生徒の学習後のまとめから（感想の抜粋）8点

引率教師の感想 1点

1 児童の感想

A 石器作り体験の感想

○石器作りは難しかったけれど、楽しかったです。また作りたいけれど、頁岩は山形に取りに行けないので、とても貴重な石だと分かりました。(H・K)

○足が痛くなってとても大変でした。なかなか割れない部分も富沢の先生やボランティアの方々がお手伝いしてくれました。楽しかったけれど、自分のやりで狩りをすることはできないと思います。それだけ大変な仕事をする昔の人はすごいと思いました。(R・Y)

○見た目はただ石をたたいてけずるだけで、簡単そうだったけど、実際やってみたら、石が割れたり、太ももの上でたたくので太ももが痛くなったり……と、とっても大変でした。でも、きちょうな体験ができてよかったです。(N・S)

○佐藤さんやボランティアの方みたいによくできなかつたけど、石器時代の人はこういうふうに石器を作っていたんだなと思いました。楽しかったです。佐藤さんやボランティアの方々、優しく教えてくれて、ありがとうございました。(S・S)

B 学習を通しての感想

○旧石器時代の人々は、一つの大きな石から何個もの道具を作っていて、現代の人より頭が発達していると思いました。(R・M)

○石器作り、いろいろな見学をしてみて、昔(2万年前)の人(新人)はいっぱい苦労して生きてきたんだなあとと思いました。(E・H)

○旧石器時代の人々は火をおこしたり、動物を狩ったりする時も、よく考えて行動していたということと、仲間と協力し、助け合って生きていたことが分かりました。(A・O)

○2万年前の人たちは、今の私たちにない生活力があつたんだと思いました。(M・W)

2 引率教師の感想

昨年度に引き続き、今年度も学習させていただきました。

教科書では縄文時代から学習しますが、この施設でそれ以前の旧石器時代があるということを知った点で、発展学習としてもよい経験になりました。

石器作りは職員の皆様とボランティアの方々に丁寧に教えていただきました。児童の感想は、石器に向けた石の種類や、石器と現代の鉄の武器とを比べたものが多く、体験を通すことで、机上では出ないような「気づき」や「考え」を経験することができました。

職員の皆様とボランティアの方々には、連休合間の忙しい時期にもかかわらず、学習の機会を設けて丁寧に対応していただきました。本当にありがとうございました。